

全国大会、近畿大会に出場する部員の皆さん。これまでに皆さんが積み重ねてきた努力で、この場に立てたこと、まずはおめでとう。

いま紹介があったように、

全国大会は、ギターマンドリン部、放送部。

近畿大会は、水泳部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、ソフトテニス部、化学部の皆さんが出場します。

さらに、女子バレーボール部の二人は、兵庫県の代表選手として、ロシアのハバロフスクで開かれる親善試合に出場します。

これだけ多くのクラブが全国大会、近畿大会、国際親善試合に出場し、新しい歴史を刻もうとしていることに大変嬉しく思います。

部員の皆さんはこの大会までに、苦しい練習に耐え、しのぎを削る中で、悔しい思いや嬉しい思いを経験し、何よりも自分との戦いに、長い日々を過ごしてきたことと思います。

この全国大会・近畿大会では、今まで見たこともないような強豪校と競い合うことになります。

今まで積み上げてきたことを自信にして、また、大きな大会に出場できることを誇りにして、練習成果を本番に生かして、大きな舞台で思う存分力を出してほしいと思います。

ここにいる全校生、教職員、また、保護者、地域、同窓の方々は皆さんを応援しています。学校の代表として、他の学校と正々堂々と戦ってきてほしいと思います。皆さんの勇姿はきっと多くの人に夢と感動と勇気を届けると思います。

大会の結果は気になるところですが、それ以上に、部員一同で力を合わせて戦うことが大事です。プロセスを大事にしてほしいと思います。

室伏広治さんは金メダルが期待されるなか、初めての出場となった2000年シドニー五輪での敗北をしてしまいました。それを機会に、それまでの勝利至上主義から、自分の進化を追い求めるという意識が生まれるようになりました。そこから、彼の精神力が生まれ、オリンピック、世界選手権での二度の金メダルという快進撃がスタートしました。

皆さんには、部員と一緒に頑張るプロセスと自分自身の進化を大事に、一戦一戦、目の前の目標に向かって集中してほしいと思います。

皆さんの健闘を祈り、私の激励の言葉とします。頑張ってください。